

# 田尻町地球温暖化対策実行計画における実施状況報告 (平成29年度分)

## 1. 計画の概要

田尻町地球温暖化対策実行計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、平成25年度に策定し、平成29年度に改定しました。

この計画は、温室効果ガスのうち最も地球温暖化への影響が高く、公共施設及び行政サービスの中で削減可能な二酸化炭素(以下、「CO<sub>2</sub>」という。)を削減対象とし、平成24年度を計画の基準年度とし、町の公共施設施設から排出されるCO<sub>2</sub>について、平成29年度から32年度の4年間で3%削減するものです。

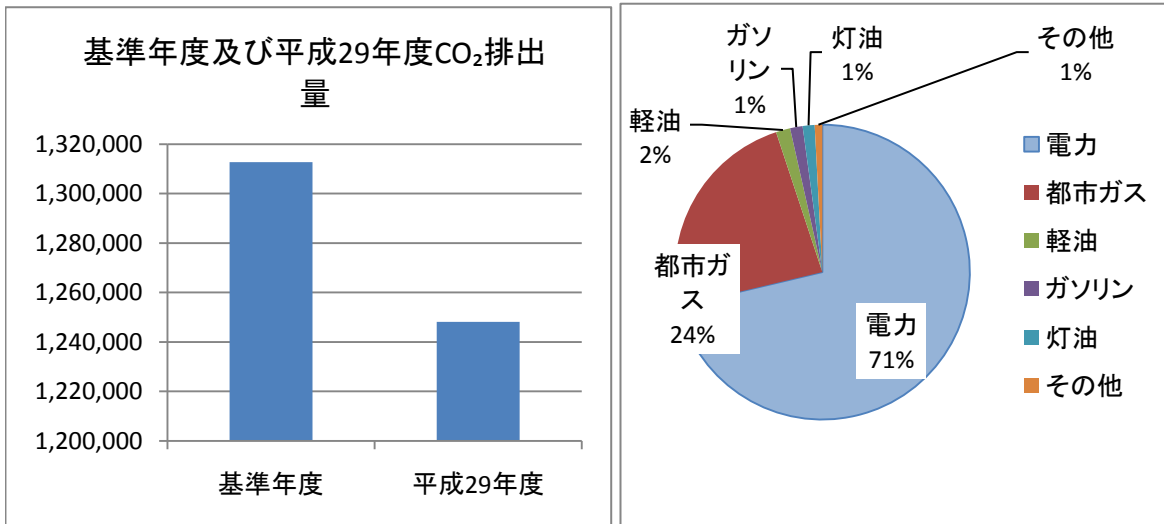
### 【実行計画による目標値】

対象温暖化ガス	基準年度排出量 (平成24年度)	削減目標 △3%	目標年度排出量 (平成32年度)
CO <sub>2</sub>	1,312,700 kg-CO <sub>2</sub>	△39,381 kg-CO <sub>2</sub>	1,273,319 kg-CO <sub>2</sub>

## 2. 平成29年度のエネルギー使用量及びCO<sub>2</sub>排出量

平成29年度のCO<sub>2</sub>排出量は、基準年度の平成24年度に対し、64,578kg-CO<sub>2</sub>減少し、4.92%の削減率となりました。

対象温暖化ガス	基準年度排出量 (平成24年度)	削減量	平成29年度排出量
CO <sub>2</sub>	1,312,700 kg-CO <sub>2</sub>	△64,578 kg-CO <sub>2</sub>	1,248,122 kg-CO <sub>2</sub>



エネルギー種別	エネルギー使用量		CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )		
	基準年度	29年度	基準年度	29年度	削減率(%)
電力(kwh)	2,146,403.0	1,977,242.0	965,881.0	889,759.0	△ 7.88
都市ガス(m <sup>3</sup> )	123,742.0	128,584.0	283,802.0	294,908.0	3.91
軽油(ℓ)	3,446.7	7,575.5	8,910.0	19,582.0	119.78
ガソリン(ℓ)	11,955.3	7,375.1	27,756.0	17,122.0	△ 38.31
灯油(ℓ)	6,416.0	6,573.0	15,973.0	16,364.0	2.45
重油(ℓ)	3,600.0	3,600.0	9,755.0	9,755.0	0.00
LPガス(m <sup>3</sup> )	95.3	96.7	623.0	632.0	1.44
<b>合計</b>			<b>1,312,700.0</b>	<b>1,248,122.0</b>	<b>△ 4.92</b>

田尻町地球温暖化対策実行計画の策定を受け、田尻町では公共施設毎にエネルギー使用の減量に努めております。

公用車の買い替え時に順次、低公害車を導入してガソリンの使用量を減らし、また、冷暖房の温度管理を進めて都市ガスや電力の使用量の減少に努めました。さらには、施設内での消灯の徹底や公共施設のLED化の促進なども進めています。

一方、田尻町は、現在、人口約8900人、町域の面積が5.62km<sup>2</sup>（空港島分3.27km<sup>2</sup>）と小さな町ですが、平成24年度以降、警察学校の開校や住宅開発により、人口が約1割増加したことに伴い、水道水の供給に伴う水道施設の稼働による電力使用の増加やごみ収集運搬車両の走行距離の増加に伴う軽油やガソリンの増加、新たな開発地域での道路照明等の増設等やむを得ない変更に伴うエネルギーの増加があり、今年度の達成状況を維持していくには更なる取組が必要です。

### 3. 今後の取組みの方向性

平成29年度におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減は、基準年度に対し、4.92%の削減となりました。この削減は、低公害車の導入や省電力の機器の導入によるところが大きく、安定してCO<sub>2</sub>の削減を進めるためには更なる取組が必要という状況であることに変わりはありません。

今後とも、住民サービスの維持を図りつつ、各施設での節電対策として空調設備等の適正管理はもとより、計画に基づく温暖化対策の実行を職員一人ひとりが取り組んでまいります。

更に、省エネ機器の導入を図るとともに、再生可能エネルギーへの転換についての検討を重ねてまいります。

また、公共施設や駅前道路への植栽など緑化の推進にも努めてまいります。